

在京芸陽

第32回 在京芸陽観音同窓会のご案内



- 日 時 平成 30 年 10 月 28 日 (日) 12:00 ~ 14:00 (11:30 より受付開始)
- 場 所 六本木ヒルズクラブ 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 51 階
TEL 03-6406-6001
- 会 費 9,000 円
- 催 し 観音高校音楽部 OB 合唱団による合唱ほか
- 申 込 同封の払込取扱票でお申し込みください。 **申込締切：9月28日(金)**
事情により申込後に参加取り消しを希望される場合は 10月18日(木)
までに代表連絡先にご連絡ください。会費を返金致します。

皆様の周りで本案内が届いていない方がおられましたら代表連絡先にご連絡ください。折り返し案内と払込取扱票をお送りします。お誘い合わせの上ふるってご参加ください。

在京芸陽観音同窓会
会長：松本 直和 (広島観音 20 回)
TEL : 090-5428-3364
E-mail: nac03015@nifty.com

代表連絡先：児玉 茂美 (広島観音 27 回)
TEL : 080-5443-9686
E-mail: kodama.1x3-gets@ezweb.ne.jp

会場最寄駅 (地図参照)

地下鉄日比谷線六本木駅 1C 出口 3 分
地下鉄大江戸線六本木駅 3 出口 6 分



<http://www.roppongihillsclub.com/visitor/dfw/jp/index.html>

同窓会会長挨拶



松本 直和
(広島観音 20 回)

昨年十二月に開催しました理事会におきまして役員並びに理事の任期延長承認を議決頂きました。今年も昨年同様の体制で引き続き活動を続けますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。この会が在京同窓生の皆様の交流の機会となり、旧交を温め広島の良い思い出を語り合う場となることを期待しております。昨年十月の総会・懇親会には八九人の方に参加いただきました。今年も十月二十八日の総会・懇親会に昨年以上の皆様にご参加いただけることを期待し、皆様のお元氣なご様子がかがえませます様、理事当番幹事一同当日の企画を検討中です。とはいえ一昨年には活動資金不足に苦心し、昨年には資金確保対策への皆様のご理解とご協力をお願いしました。対策は

- (1) 二中先輩の一部の方への会報発行の中止
- (2) 振込手数料の有料化
- (3) 総会懇親会参加費の値上げ

です。少子高齢化の時代で、関東地区に進学や就職される卒業生も減少している昨今です。在京同窓生の皆様にご負担をお願いしませんが、お詫び申し上げます。少子化の波は益々進行し、日本の人口ピラミッドの予測は、二〇五〇年には七六〇七八才が最多の年齢層となり(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」二〇一七年推計より)、高校卒業(今の教育制度が続いたと仮定して)の一八歳は八十万人を切る予測が出されています。観音高校卒業生を見ますと、二年前の齋藤前副会長のレポートによりますと、在京地域(東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城)への卒業生移動は、一九九三年の一人以降は一桁台となっており更に二〇〇六年以降は〇人、二〇一三年、二〇一四年に各二人という状況です。地方創成により地域の活性化が進み、広島県内の大学等進学先も充実してきますと、関東に移ろうとする人生設計のある方は、私の様な転勤者を除くと減少傾向は続くのではないかと思えます。その為、多数の在京同窓生のご協力・ご参加が当会維持に益々不可欠となっております。

お陰様で今年も多数の皆様のご理解ご協力を頂きまして、会報発送等の活動を続けることが出来ます。来年以降も会報発行、総会懇親会開催、学年間交流等、皆様の交流機会

の場を広げるべく活動を続けたいと思えます。より多くの皆様の益々のご協力をよろしくお願いたします。

昨年はサッカー部の南東北インターハイ出場に観音OBとして応援に盛り上がり、またOB合唱団東京支部の皆さんによる『いしづみコンサート』開催等、広島を思い起こす機会を頂きました。これからも高校生諸氏、同窓生諸氏のご活躍に大いに期待したいと思います。

一九二二年に県立第二中学校が設立され、二〇二二年には創立一〇〇周年を迎えます。広島同窓会では記念事業をご検討されていると昨年の会報に掲載されています。在京同窓会からも何かご協力が出来ればと思っております。皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

同窓会幹事から皆様へ参加のお誘い



児玉 茂美
(広島観音 27 回)

し、そして三年生の時に広島を離れました。広島が故郷でないこともあり、広島を離れてからは高校時代の友人ともいつしか疎遠となりました。長い月日が流れてしまいました。東京に居を構えてから、在京芸陽観音同窓会の案内を頂いておりましたが、同級生が出席しているかが分からず、出席してみたら知っている人は誰もいなかったという事だけは避けたかったので、長い間参加しておりませんでした。同じような理由で、参加するのにも二の足を踏まれている方も多いのではないかと思えます。

同窓会の一歩の楽しみは、昔の友と会うこと。そして、高校時代にタイムスリップすることだと思えます。高校時代にそれほど親しくなかった人であったとしても、同じ時間を過ごしたという事だけで、共通の話題で盛り上がるものですが、「ぎっかけ」がないと集まることも、盛り上がることもできません。在京芸陽観音同窓会の開催案内は、首都圏在住の同窓生の皆さんに送付されていますので、この会を同級生が集まるための「一次会」と捉えては如何でしょうか?既に同級生との集まりを定期的に行われている代も、これから同級生と会う機会を作りたいと思っている代も、この同窓会を「ぎっかけ」として活用できるはずですよ。何事も、何かの「ぎっかけ」が無いと、実現することは難しいものです。その為にも、この同窓会を理由に、一人でも多くの同級生の皆さんに声掛けて、同級生の集まりに発展させて下さい。そしてもう一つ、今回の在京芸陽観音同窓会でも、昨年引き続き、音楽部OB合唱団による「いしづみコンサート」を予定しております。「いしづみコンサート」は、七十三年前(一九四五年)の広島二中一年生約三百名が原爆によって犠牲となったことを、歴史上の一つの出来事として捉えるのではなく、生き残った家族から見た当時のありのままの姿を朗読と合唱で演じて頂きます。広島に関わりがある人は決して忘れることのできない、そして、全ての人が忘れてならない出来事である原爆。平和であることが当たり前となり、生活に追われていく毎日ですが、ほんのひと時、走り続けている足を止めてみて下さい。真に平和を願う心は、過去の脅威と悲惨さを再確認することで生まれてくるものなのかもしれません。そんなことを考えさせてくれるコンサートです。十月二十八日には、六本木ヒルズで美味しいお料理と最高の眺望、そしてちよつびりですが平和を願う時間を用意してお待ちしておりますので、同級生の皆さんをお誘い合わせの上ご来場下さい。多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

特集：各界で活躍されている卒業生

各界で活躍する同窓生を紹介するコーナーです。
第一回目はアニメ界、政界、音楽、医療、文学、大学の六名に寄稿していただきました。

根無し草で30年

ユニバーサルアーティスト
こるまでるび



小林 勉
(広島観音 32 回)

昭和五十六年第三十二回卒業の小林勉です。

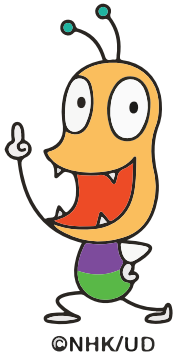
私は中学一年の時、親の転勤によって東京から広島に移住しました。その年はカープが球団史上初めて優勝し、東京では見たことがない「球団に熱狂する市民」にカルチャーショックを覚えたのが、広島最初の記憶です。

その後高校卒業まで六年間、一番多感な時期を広島で過ごしました。観音高校時代は勉強もしないで遊んでばかり。思い返すに自由で楽しい毎日でした。

卒業と同時に東京に帰り、始めは目的が見つからずぶらぶらしていました。そういえば小学校のとき、図工の先生やお絵かき教室の先生に、絵だけは褒められたなあ……と思いつき、絵の道に進もう！

と決めます。

デザインの専門学校に進み、そこで出会った彼女と専門学校卒業後すぐに結婚し、「うるまでるび」というペンネームでアーティスト活動を始めます。最初は二人で遊んでばかりでしたが、三十歳になったときTV番組「ウゴウゴルーガ」に参加し、アニメ作りを始めます。他の番組の仕事も入り、毎週六本のアニメを作ることに。遊んでいた日々は一転、仕事仕事の毎日になります。



©NHK/UD

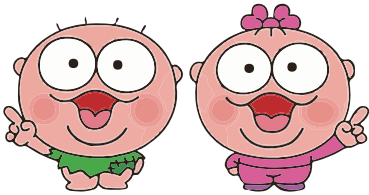
おしりかじり虫は、妻である「でるび」が洗い物をしているときに、おしりが突き出たのを見て「おしりかじり虫にかじられちゃうよ」と何気

なく言ったのがきっかけで生まれました。その時は、まさか紅白歌合戦に出るなんて、思ってもいませんでした。

最近では、文化庁に任命されて「文化交流使」として海外で日本文化を広めたり、オランダの障害児用スクールバスにキャラクターを提供したりといった海外での活動や、小学生が二日間で落書きからアニメまで作るクリエイティブ教育の実践など、文化的な活動も増えています。

良いことも悪いこともたくさんありましたが、悩んでも変わらない、なるようになるさの精神で、毎日を楽しむ人生です。単純です。

うるまでるび ホームページ
<http://bit.ly/uu-dd>



うるまでるび

母校観音高校での学びを日本の未来に向けて

衆議院議員 (茨城六区)



國光 文乃
(広島観音 48 回)

在京芸陽観音同窓会の皆様こんにちは。四十八回生(平成九年卒)の國光と申します。実家は廿日市市で、観音高校を卒業後、医師になり、病院勤務の後、厚生労働省で十二年余り医療政策に従事しておりました。

昨年一月、急なご縁あり、元厚生大臣の丹羽雄哉衆議院議員(衆議院茨城六区(茨城県つくば、土浦、石岡、つくばみらい、かすみがうら市、旧玉里村)の後継として、昨年十月の衆議院選挙に出馬することになり、初当選させて頂きました。茨城の地でも多くの先輩方にご支援を賜り深く感謝申し上げます。

観音高校は生徒の自主性に任される校風で、勉強はもちろん、部活、生徒会、ボランティア、芸術など、各自が高校生活を謳歌しており、私もそのお蔭で、実り多い学生生活を送ることができたように思います。部活は柔道部に所属し、猛暑や積雪の中での出

稽古、乱取りなどの稽古は厳しいものもありましたが、その頃の「心・技・体」「柔よく剛を制す」などの教えは今にも生きております。

国会では、昨年十一月初登院後、すぐに予算の時期となり、専門の医療介護はじめ、経済、子育て、安全保障など、地元のご意見を伺いつつ、議論に参画させて頂き、予算折衝の場で努力いたしました。

現在は、様々な法案が審議されていますが、厚生労働委員会に所属し、話題となっている働き方改革法案、医師不足対策に向けた法案、待機児童対策はじめ、国政の政策課題に対して懸命に活動させて頂いております。

まだまだ若輩ではありますが、地元茨城、広島はじめ全国の皆様のために全力で頑張っております。

振り返っても、現在に至る道は、観音高校で多くの貴重な刺激を頂き、育てて頂いたお蔭と常々思っております。今後、このご恩を少しでもお返しすべく、国政の場で研鑽し全力で努力させていただきます。同窓会の更なるご発展を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



『私』を創つて
くれた観音高校

ソプラノ歌手



浦原 史子
(広島観音 30回)

昭和五十四年三月卒業の浦原史子です。東京の音楽大学に進学して以来、四十年近く東京で暮らしています。ソプラノ歌手として、演奏会を開いたり、オペラに出演したりしています。一般的になりみのあるものは、NHKみんなのうた「小さな木の実」と、CMソング「明治チエルシートの歌」でしょうか。

昭和五十一年、観音高校一年I組は、合唱コンクールで「流浪の民」を歌いました。たまたま私がソプラノのソロを歌ったところ、体育館全体にどよめきがおこり、「ひよつとしたら私は歌う才能があるんじゃないか」と思い込んだのです。一年I組は音楽賞を受賞し、私は代表として放送部のインタビュアーを受けました。そこでも上手にほめてもらい、「オペラ歌手になれるかも」といい気になったのでした。おだてられていい気になるといのは、とても大切なことですね。

昭和六十三年、文化庁芸術

家在外研修員としてイタリアに渡りました。あちこちの劇場でオペラを観たり、教会や美術館を巡ったり、ヨーロッパの有名なコンクールを受けたりと、充実した留学生活を送りました。そこで一番強く感じたことは、「自分は日本人である」ということです。ここをないがしろにしては何もできないのだということ、ひしひしと感じました。また広島生まれというのも外国では強烈なアイデンティティになります。生まれた時から「ヒロシマ」を知っている者として、なすべき事はたくさんある様に思いました。



新才能「骨の夢」

世流の浅見慈一さん、狂言の善竹忠重さん、琴古流尺八の青木鈴慕さんといった、歴史に残るアーティストと共演できて、本当に嬉しく、感謝の毎日です。これからも、一層芸が深まっていくよう精進する所存です。

ところで、私にはもう一つ夢があります。それは「本物のキリマンジャロに登ること」です。観音高校の、あのボロボロのキリマンジャロが、勇気と忍耐を教えてくださいました。そして、いつか本物のキリマンジャロに、と思う心は舞台に立ち続ける強い足腰につながってまいるのです。

「われこそは」と思われる方！いつか一緒に登りましょう！！

キリマンジャロ
その後

歯科医師



野々山 浩介
(広島観音 31回)

観音高校二年の期末テストのクラス順位四十番台！こりやかなりまずい、部活やら応援団やらにうつつを抜かし過ぎたと反省し猛スパートし、現役の段階では広島大学工学部に合格しました。

両親は公立から現役で地元の国立大に入ってくれて喜んでくれました。が、私は大学入学後、大学生活を送りながら空きコマには大学の図書館で再受験の為の勉強を続け、夏休み前まで家庭教師で貯めていたお金で親には内緒で河合塾の夏期講習に通い（ちなみに私の父は舟入高校で数学を教える安サラーリーの地方公務員でした）八月末のある日、夏休み中に受けた模試のA判定の結果を親に見せ、本腰を入れて再受験のための勉強をしたいので後期から予備校に通わせてほしい、と頭を下げました。親の承諾を得て後期生として予備校に通い翌春、早稲田の理工と広大歯学部へ合格。二年続けて広大に入学となりました。

歯学部を卒業後、東京に勤務医として就職、その後横浜で開業となりました。歯科医師会では地方の国立大学出身など全く学閥が無く相手にされませんので開業してからの数年、種々の圧力その他はちよつとここに書くことは憚れるもので、何度も閉院をもの考える辛い日々でした。

開業後も国内外の学会研修会等で研鑽を積み、やがて海外での学会などで知り合ったインプラント治療の世界で活躍する日本中のドクターたちと勉強会を立ち上げ、会出版もしました。現在、その勉強会の会長も務めながら国内及び海外の学会等への参加



Dr. Nevins と Boston の学会にて

研修会での若いドクターたちへの指導等忙しく毎日を送っています。

大学時代六年間美術部で油彩等を描いて何度か県美展にも入選させていただきました。その才も生かして国内の歯科医師向けの研修会ではおそろく唯一のデッサンの指導もさせてもらっています。

歯科医師会のほうは、散々入会を妨害された後、入会させてもらい、在ろうことかその後理事まで務め、現在は理事就任依頼をお断りするような立場に逆転しました。

もしお知り合いに横浜でインプラント治療などのクオリティの高い保険外治療を希望される方がいらっしやいましたらご紹介いただくと幸いです。

もちろん卒業生の方に来ていただいた場合、自費治療に関して特別値引きをさせていただきます。（他言はしないでございますね）

小説を書くという仕事

文筆業



津原 泰水 (広島観音 34回)

厳密には小説家という職業は存在しません。小説作品があるていど世に認められると、その影である著者という存在に着目する方々も現れます。作品が数を増していけば影も数を増し、それらが重なって生じた得体の知れない形象が小説家と呼び習わされてきたに過ぎません。

だから僕らが不動産契約やローンの書類の空欄を埋めるとき、職業には文筆業、執筆業などと記すのがならいです。するとしばしば契約先も書くよう指示されます。筆を作つてどこかに納品しているとも思われるんですよ。

勤務先も契約先もありません。多く、出版社からの依頼に応じて書きはじめるわけですが、依頼書の一通としてないのが当たり前です。口約束と、書き上がった原稿と、その対価が行き交うだけの原始的な世界で、夏休みの自由研究に向かう子供よろしく肅々と書き続けてきました。来年で三十年になります。

表舞台には無縁の星霜でしたが、そういえば十年余り前己妻の実家に身を寄せていた折、同じく実家が己妻だという出版社の社長が訪ねてこられ、話し込んでみれば観音高校の大先輩、しかも同じく吹奏楽部のOBだったという奇遇がありました。そこで本来のご依頼とは別途、高校吹奏楽部を描いた小説を依頼されました、苦心のすえ仕上げたのが『ブラバン』という長編です。ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が来日したあの時代をご記憶のどなたの目にも物語の舞台は当時の広島市であり、主人公が通う学校は観音高校そのものです。地味な作品ながら口コミによって売れ、のちに新潮文庫に加えていただいで何年も「夏の100冊」の目録に載り、抜粋が幾つもの入試に使用される光栄に与りました。



ただしこれは本来の作風からは異色の作、ようやっと一人前の心地を味わえたのは幻想的短編が注目を浴びるに至った近年のことです。とりわけ「五色の舟」という作品は漫画化も舞台化もされ、前

者は文化庁メディア芸術祭マンガ部門で大賞を賜りました。漫画もその原作も書いていない不思議な受賞者です。

より嬉しかったのは、早川書房「SFマガジン」が百号に一度、識者と読者の投票により選定するオールタイム・ベストSFの国内短編部門一位ともなったことで、なにして八、九年に一度のお祭です。から、同部門の歴代受賞者は他に星新一さんと小松左京さんのみです。後世の方々は「三人めのこいつは誰だ？」と首を傾げられるのでしょうか。

「五色の舟」もまた、広島が舞台です。そういえば「小説」とは元来、身近なことを記したものであるという意味でした。

エッセー

立正大学文学部准教授



渡邊(坂口) 裕美子 (広島観音31回)

現在、わたしが教員として勤めている立正大学は、日蓮宗僧侶の教育機関を淵源として明治時代初期に近代教育機関として開学しました(ちなみに「渡邊」のほうは旧姓で、仕事では旧姓(学名)を使っています)。その大学名から

今でも僧侶の教育機関と間違われることがあるのですが、文学部・心理学部・経済学部など全部で八学部十五学科、学生数約一万人を擁する、ごく普通の総合大学です。もちろん仏教学部もあり、日蓮の言葉に由来する建学の精神を大学の独自色として大切にしています。学生は総じて素直で真面目、穏やかな学生生活を送って卒業していきます。牧歌的な学園風景が現代でも保存されていることに、他大から移ってきた教員が驚くことがしばしばあります。それでも時代の波には逆らえず、カリキュラム改革や入試改革など、さまざまな改革も行なわれていきます。急速に十八歳人口が減ることがわかってい

思います。父が転勤族だったため広島で過ごしたのは高校三年間のみ。観音高校では卓球部に所属、その仲間を中心に親しい友人グループができて、高校生活を謳歌していました。教科書はほとんど教室の机に置きっぱなし(置き勉強です)、休み時間は大貧民(トランプ)に興じ、別冊(別冊マーガレット)を回し読みし、放課後は卓球。家は井口の坂の上であり、大きな秋田犬を飼っていて、帰宅すると、よく犬を連れて散歩していました。それがほぼすべての毎日でした。のどかな高校時代だったと思います。そして、東京の大学に入学。感銘を受けた本の話題になり、モンテニユのエッセーに感動したという友人の言葉を聞いて、衝撃を受けました。自分なんてボンヤリと大切な時間を過ごしてしまっただろう。

わたしが所属する文学部(https://lettersisac.jp/)文学科日本語日本文学専攻コースでは、近年、初年次教育、つまりは新入生が大学での学びや生活にスムーズに移行できるようにする教育プログラムですが、その改革に力を入れて、一定の効果を得ています。今でこそ古典和歌の研究者として論文を書き、大学では教員らしい顔をして教壇に立っていますが、子供の頃から文学少女だったというわけではありません。大学に入学した頃の自分自身を振り返ると、本当に幼かったなあ、と

読書に限らず、こうした豊かで深い文化的な体験を少年少女時代にしてきた友人たちには一生掛かっても追いつけないのではないかと、愕然としたのです。その思いは今でも変わりません。まあ、その代わりに、のどかで楽しい時間を過ごしていたのですから、本当のところ、どちらがよかったのかはわからないのですが、それでも、もし、高校時代の自分にアドバイスができればのならば。もう少し本を読んで思索の時間を持ちなさい、と。

カープ観戦ツアー
4月15日 東京ドーム

四月十五日東京ドームにて、二回目のカープ観戦ツアーが行われました。
在京同窓生とご家族五十名の観戦です。
ドキドキの試合展開でしたが、五対四で見事に勝ちました！参加された皆様の強運がカープを勝利に導きました。皆様の応援に感謝です！



四月十五日、対巨人戦。試合終了まで予断を許さない接戦で、最高の勝ち試合となりました。観戦後の居酒屋での祝杯、カープ談義など楽しい時間を過ごせたのも、幹事・役員様のお陰です。感謝です！
カープの思い出は多々あり、なかでも観音新町に住んでいた子供の頃、よく県営球場の石垣を登っては、カープの練習風景を見ていたものです。時に外野で球拾いをする、選手からお好み焼きをご馳走になることもありました。懐かしい良い思い出です。
昨年、同期の城口君と四十五年ぶりに再会し、その時芸陽観音在京会の事を知りました。来年も在京会で一緒にカープ応援ができるならば、是非参加したいなと思います。末文ながら、心から広島東洋カープに尽くしてくれた鉄人・衣笠祥雄さんのご冥福をお祈りいたします。合掌。



森田さん 城口さん

同期観戦記
森田博隆(広島観音19回)



森本さん夫婦

観音高校には、二年生になる時大阪から転校しました。広島には二年間しか住んでいません。卒業して三十五年後の二〇〇九年、広島での同窓会出席以来、毎年の在京同期会、在京同窓会、女子会、そして、今回のカープ観戦会です。鳥取出身の夫と参加しました。幹事からユニフォームをお借りして、にわかカープファン夫婦のできあがりです。ホームランが入った時の大歓声！応援団のかけ声や、グッドタイミングでとばされる野次！そしてカープの勝利！
その後、家で野球を見ることが増えました。初老夫婦二人暮らしに共通の話題がひとつ増えるという予期せぬ良い効果があったことと、カープファンが二人増えたことをご報告いたします。今では、広島が第二の故郷だと思っています。観音高校の卒業生である幸運を思い、同期の皆さまに感謝しています。

夫婦観戦記
森本園子(広島観音25回)

カープ女子の娘と、三十年前のカープ女子の私、三十四回生はその家族も含め七名での参加でした。最寄りの横浜スタジアムでなく今回は初のドーム観戦、とても楽しみにしていました。試合は大瀬良選手の好投や菊池選手のホームランなどで三点差にて最終回へ。ここでまさかの中崎劇場：ひやひやドキドキしましたが、一点差を守りきり見事勝利となりました。当同窓会の一致団結した心強い応援はきつとグラウンドの選手に届いていたはず。いつもお世話下さる理事の先輩方、本当にありがとうございました。試合終了後は同期とドーム外のテラスでお茶を飲みながら近況報告やプロ野球について語り合いました。こうして熱い応援とその勝利、既に自立し巣立った娘との大切なひと時、同期との心温まる会話、三つの宝物を胸に幸せな帰路についたのであります。



木村さん親子

親子観戦記
木村陽子(広島観音34回)

芸陽観音ゴルフ会

二〇一七年

在京芸陽観音ゴルフ会報告

田中 義一(広島観音20回)

二〇一七年度のゴルフ会は、春は鎌ヶ谷カントリークラブ、秋は森政様のご尽力により、平塚富士見カントリークラブで開催されました。春の会と秋の会で、幹事役である田中が、ベストグロスで優勝をしました。秋の会は、二〇一八年十月十一日に、泉CCで開催します。

▼春コンペ(鎌ヶ谷CC)

優勝 田中義一(観音20)

準優勝 東 明(観音18)

三位 山本和雄(観音3)

ベストグロス 田中 義一

▼秋コンペ(平塚富士見CC)

優勝 田中義一(観音20)

準優勝 森政忠雄(観音3)

三位 森山康三(観音20)

ベストグロス 田中 義一



ゴルフの進歩

田中 義一(広島観音20回)

ゴルフ交遊録を掛水さんから引継ぎます。ゴルフの経験年数は合計で二十八年ですが、途中十三年間は、何もしない氷河期があります。二十八歳でゴルフを始めましたが、デビューは、家族旅行でのショートコースです。父の古いハーフセットを使い、百五十ヤードのホールで、気持ちよく振ったクラブに抵抗はありません。なんと空振り皆さんから、大笑いされました。それから、会社の先輩から強制的に誘われて、毎週土曜日の練習場通いとなりました。数年すると、ゴルフ場での恥ずかしさは、ハーフセットの恥ずかしさは、道具のせいで、スコアは、道具のせいと言いつつ、やっと三年経過して、アイアンセットを購入しました。やはり、ゴルフは、道具です。一年が経過して、なんと、ハーフ三十九が出た時は、感激でした。でも、感激は一度だけです。年数回のラウンドでは仕方がないでしょう。とにかく、遠くに飛ばすことだけを考えると、社内コンペでは、ドラコンしか狙っていないゴルフです。当時は、スリムで眼鏡をかけてのプレーで、スイングが綺麗で、矢部昭に似ていると言われておりました(自画自賛?)。しかし四十歳になって、四十肩に二回も見舞われて、ついにゴルフを諦めました。高校の同

級生からの突然の誘いです。彼が銀行からゴルフ関係の会社へ出向となり、強引に誘われ、ゴルフ場に連れて行ってもらいました。十三年ぶりのゴルフはゴルフではありません。このきっかけをもらい、翌年の二〇〇四年秋の芸陽観音ゴルフ会へ初参加しました。仕事も忙しいので、年数回のラウンドです。芸陽観音ゴルフ会の二回目の参加は二年後の二〇〇六年九月になりました。六十歳になって、時間の余裕が出来ましたが、年を取る事を忘れていました。距離から確実性のゴルフへ。二〇一二年の芸陽観音ゴルフ会では、ハンディーに恵まれ、初優勝から三連覇も達成できました。次の挑戦として、一人ゴルフへの参加です。いろんな方と出会えるので、毎回楽しみになっています。ゴルフのプレーに進歩が出来て、毎年嬉しいイベントを経験しています。一昨年在イギリスの達成です。ミドルホールで打ち上げのグリーンです。セカンドがカップインしましたが、グリーンが見えないので、感激はありません。昨年は人生初めての七十台です。最後のホールを残して、七十三でした。最後は、打ち上げのロングホールです。三打で、グリーン手前まで来ました。寄せてワンプットを考えたら、緊張の度合が半端ではありません。やはり、ダブルで、スロープを下って行くボール。ため息が出ましたが、開き直して、寄せてワンプットのポギーでした。七十九というスコアを達成出来ました。もう、この緊張は二度と味わいたくないと思っています。今後の目標は、石丸先輩のように、エージシュートですが、それまで健康でいたいと思います。

恩師を訪ねて

吉永利行(広島観音21回)

「後藤美精先生」

昭和四年五月生

89歳



- ・ 観音高校の在籍期間は昭和三十八年四月、昭和五十五年三月
- ・ 担任した期 17・21・25・26期
- ・ 部活 陸上部・体操部
- ・ 学校周辺の想い出

近くのラーメン屋「豊坊」・喫茶店「ボントン」でよく食事をしていて、雨が降ると正門前の水路が溢れて大変な思いをしていた。

現在、西本浦町で一人暮らしされており、近くの店まで徒歩で(坂道もあり)買い物に出かけられます。

【先生曰く】

体が動くうちは、自分でできることはしたいんじゃない。

酒は焼酎がええんじゃない。

煙草もやめられんよ。

野菜作りをされていたところは『ようけ出来たけえ、お前ら持って帰れ』、と手作りの野菜の煮物を出してくれていた、こともありました。

二十一期クラス会は、当初は先生のお宅で、そのうちに子供連れになり、また孫連れでお邪魔してました。十五年ほど前から一緒に旅行にも行くようになり、今年は一泊二日山口の湯田温泉へ出かけました。



同窓会広島本部だより

母校の食堂と売店の今



昭和三十七年十月に落成した同窓会館。その一階にある売店の今をお伝えします。昼食時にうどんを販売開始した昭和四十六年二月以降に在学された方々には、食堂の思い出もありませんか？ 当初から文具を販売していましたが、昨今は百円ショップの品揃えが充実しているためか、シューズの中には必要最低限の品が並んでいます。以前は無かったものといえば、「応援グッズ」でしょうか。野球部のブル、サッカー部のグリーンをイメージして作成した、応援Tシャツ、タオル、うちわが販売されています。サッカー部等が全国大会に出ることも多くなっている近年



では、在京の同窓生の方々も、インターハイや全国選手権で、ご覧になったことがある方もいらっしゃるかもしれませんね。昨夏、仙台で行われたインターハイ・サッカーでも、暑い中、応援グッズが大活躍！ 母校にお立ち寄りの際には、是非、ご購入いただき、Tシャツ・タオルを身につけ、うちわを持って、在校生の応援で、ともに盛り上がりませんか？ この他、売店では、パンやジュースを販売、食堂のメニューと価格は、こんな感じになっています。

- 日替わりランチ：400円
 - カツカレー：380円
 - チャーシューメン：350円
 - 唐揚げ丼：350円
 - 肉そば：290円
 - かけうどん：180円
- 等
- 皆さんの在学時と比べて、どうですか？ エネルギー消費が激しい部活が活発なこともあってか、品数は充実。二十を超えています。

観音発！ 世界で一番美味しいネギ！

同窓生であれば広島で好み焼きを食べる際にトッピングでネギが用意されているのをご存知ですね。あれは多くの場合、観音地区の特産である観音ネギという国内有数のブランドネギなのです。観音ネギ（読み方は母校同様カンオンであつてカンノンではない）は明治中期に九条ネギの種を広島に持ち帰り、観音の地で品種改良や栽培方法改善を重ねて作られた葉ネギの逸品です。百年以上の試行錯誤を行ってきた価値あるブランドネギなのです。普通の葉ネギより白い部分が長くやや太い。肉質が柔らかく特有の香りや風味が最高です！ 生育には太田川の恵みであるきめ細かな砂地が必要で現在は安佐南区川内、中筋地区の他、白木町が主な産地です。一年中栽培していますが、一段と美味しくなるのが冬の時期。お好み焼きやネギ焼きの他、焼きそばや鍋ものにも最高です！

観音ネギとは似て非なる分葱（わけぎ）も広島県の特産農産物で、尾道が出荷量日本一です。尾道の方々はきつとお好み焼きに分葱をトッピングしているのでしょうか。ワシンの分葱は最高じゃ！ って言いながら。

2022年に 母校創立100周年を迎えます

主な出来事

- 1922年 県立第二中学として創立
- 1927年 第1回卒業式
- 1945年 原爆により校舎倒壊全焼するも1ヶ月後に3カ所に分散再開
- 1948年 学制改革により芸陽高校となる
- 1949年 学制再編成により広島観音高校となる
- 2022年 創立100周年を迎える予定



広島県立広島第二中学校本館

同窓会では、100周年記念事業実行委員会を立ち上げ、検討を進めています。内容は

- ①在校生に役立つような施設設置
 - ②築後50年以上になる同窓会館の改修
- などです。また学校・PTA・同窓会の合同委員会を作り推進することにしていきます。会員の皆さまのご協力、ご支援をお願い致します。



広島県立広島観音高等学校本館

音楽部OB合唱団東京支部 <活動報告 & いしぶみコンサートのご案内>

●最近の活動

去る7月8日、仙台・尚綱（しょうけい）学院において平和祈念コンサートを行いました。尚綱学院中学校・高等学校合唱部とともにレクイエム「碑」を歌いました。「碑」を歌うことによって、中学生・高校生、そして観客の皆様が原爆のことを知り、平和について考えるきっかけになればと願っています。

●音楽部OB合唱団東京支部をご存知ない方のために…

・観音高校音楽部OB合唱団は、音楽部の卒業生を中心に、元音楽部顧問の益田遙先生を指揮者に迎えて2000年に結成されました。2002年から毎年広島で祈念コンサートを行っています。

・音楽部OB合唱団東京支部は、広島の前爆の悲劇を歌った『レクイエム「碑」』を東京方面の方にも知ってもらうため、音楽部OB合唱団の在京メンバーを中心に結成し、2016年から演劇部OBの蒔村三枝子さんとともに「合唱と朗読によるいしぶみコンサート」を行っています。

●いしぶみコンサートのご案内

「第三回合唱と朗読によるいしぶみコンサート」を開催します。

（昨年の会場とは異なりますのでご注意ください）

- ・2018年9月30日(日)
午後2時開演(午後1時30分開場)
- ・日暮里サニーホール
東京都荒川区東日暮里5-50-5
ホテルラングウッド4階(JR日暮里駅徒歩3分)
- ・チケット (全席自由)
▶大人1,500円 ▶学生1,000円(大学生以下)
- ・お問い合わせ
090-8343-1086(三浦)
kannon0808@gmail.com

年に一度広島のことを思い出し平和への思いを新たに作る日となることを願っています。

ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。第1回、第2回のコンサートを聴いてくださった方々も、足をお運びください。



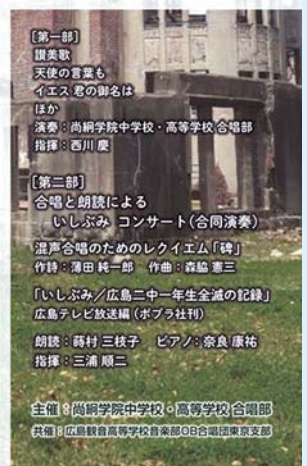
尚綱学院中学校・高等学校合唱部



平和祈念コンサート



広島観音高校音楽部OB合唱団東京支部



平和祈念コンサート(仙台)



昨年の『いしぶみコンサート』

(敬称略)

平成29年度会報発行支援費・寄付納入者

二中

回	氏名
12	伊藤 得平
18	金秋 民雄
19	大石 久
20	牧尾 良典
22	石丸 恵照
22	山本 英雄
22	亀井 賢伍
22	湊 徳夫
22	松本 正
23	平本 善一

観音

3	山木 和雄
3	平塚 功
3	森政 忠雄
3	谷口 正明
4	安藤 幸代
4	高橋 滋
5	小田 寛
6	平田 博義
6	織田 好江
6	浜田 光江
7	斎木 勝司
7	中野 春美
7	寺本 昇
7	川本 悦司
8	宇都宮 浩三
9	渡辺 敏章
9	渡部 亮一
9	山野 真純
9	立川 妙子
9	丹下 容子
9	瀧山 昇
9	仁賀木 寿子
10	山根 華子
10	福尾 政道
10	平賀 源太郎

観音

10	岡崎 巖
10	井上 佳子
10	毛利 道子
11	岩崎 格
11	出羽 千恵子
11	森脇 峻一郎
11	平田 敬子
11	中村 洋一郎
11	世良 宣義
11	木場 照美
11	藤井 明
12	河野 喜己子
13	杉本 俣男
13	土居 将憲
13	佐伯 紗代
13	谷本 多徳
13	小林 信博
14	湯谷 成人
14	内藤 寛司
14	中崎 舒弘
14	梶谷 久美子
14	佐伯 陽子
14	三宅 洋
14	古田 正雄
14	佐伯 博行
15	有田 進治
15	奈良原 章子
15	津久井 道子
15	藤井 諭
16	今田 浩子
16	片田 元己
16	大城 守雄
16	埜本 朋子
16	高木 香代子
16	岡本 正行
16	野村 昌弘
16	沖野 正則

観音

16	真保 佳代子
17	岡本 義次
17	池田 玲子
17	原田 幸子
17	清水 暢之
17	中田 君子
17	田邊 秀己
18	和田 眞
18	太田 壽一
18	内富 幸司
18	大中 進
18	市岡 進
18	平田 建雄
19	中尾 真澄
19	名本 和子
20	伊藤 清登
20	田中 義一
20	松原 邦雄
20	綿平 初起
20	木村 委津子
20	宇治 明美
20	松本 直和
20	志和木 薫
20	石田 由子
20	栗栖 正
20	中村 敏樹
20	高橋 昭子
20	藤原 美岐子
20	山本 由美子
20	倉成 由美子
20	竹内 正憲
20	黒田 美和子
20	羽場 博則
20	小林 剛
20	岩瀬 清子
20	富岡 和隆
20	横山 貴美子

観音

20	掛水 通子
20	齋藤 登
20	升田 和一
20	升野 和江
20	春田 真理子
20	猪原 陽子
21	北沢 洋子
21	西山 篤
21	佐藤 由紀子
22	福田 みどり
22	熊谷 有希子
22	田中 光晴
22	石渡 弓子
23	齋藤 敏文
23	井迫 敏郎
23	樺山 都朗
23	中谷 圭子
23	藤川 優子
23	峰岸 洋子
23	脇田 直
23	蒔村 三枝子
23	川西 桂子
23	福原 美幸
24	入矢 桂史郎
24	北島 忠晴
24	池田 利行
24	太田 信三
24	生三 美保
24	岡尾 敬一
24	郡 哲二郎
24	吉田 玲子
24	赤岩 友和
24	瓜 知生
25	藤井 高文
25	二井内 佳能
25	玉垣 俊彦
25	中川 志伸

観音

25	早田 辰比呂
25	名川 裕子
25	戸井 譲治
25	江口 英則
25	岩木 由利江
25	松井 明子
25	佐藤 三郎
26	大中 和茂
26	大中 紀美子
26	齊藤 充子
26	三浦 憲政
26	松上 泰三
26	森 由香里
26	藤近 直也
27	安田 尚子
27	吉岡 寛
27	埜 光起
27	児玉 茂美
27	中谷 忠昭
27	栗栖 俊治
27	加藤 陽子
28	熊澤 伸宏
28	伊藤 智
28	新宅 美幸
29	吉岡 千春
29	中井 好見
29	佐倉 浩平
30	小林 綾
30	山上 園子
30	橋本 篤範
30	高野 進一
30	川本 浩
30	下原 夏樹
30	栗栖 滋子
30	河崎 幸生
31	亀津 雅子
31	三谷 啓子

観音

31	大森 裕子
31	八田 美佐
31	小松 一彦
31	木村 博昭
31	久保田 啓子
31	落藤 伸夫
31	牧田 由美子
32	勝山 義樹
32	荒井 信雄
32	山口 安輝子
32	松本 麻里子
32	萱沼 美加
32	三浦 真里子
32	安井 圭子
32	小田 順子
32	栗栖 和代
32	馬場 英久
32	迫田 美津
32	若杉 泰至
33	武智 信義
33	三浦 みき子
34	井上 麻里
34	織田 真枝
34	木村 陽子
35	出浦 淑枝
36	原田 朝乃
36	小鍵 美穂
36	矢立 紀和
36	京極 雅典
36	山内 由紀江
37	田頭 博文
37	築地原 尊之

平成30年3月末日現在

損害保険代理店
アフラック代理店

西和興産株式会社

古屋 由利子 (観音 13 回)

〒733-0007 広島市西区大宮 1 丁目 27 番 4 号
Tel 082-238-9100 Fax 082-237-4493

八丁堀

生麺に観音ネギで食感絶妙
こだわりの本格的広島お好み焼き
食べに来んさゆ!

東京都杉並区元沼3-12-7
JR狹野駅北より徒歩5分
☎ 03-3398-8828

在京芸陽観音同窓会 2016年度決算報告書
(単位: 円) 2017年3月31日

前年度繰越	326,782	
収入の部		
総会費	866,000	112名
会報発行支援費	227,000	
寄附	338,220	樽募金 80,220円含む
広告費(注1)	30,000	
前受金	8,000	
計	1,469,220	
支出の部		
総会会場費	887,500	110名
会報印刷費	288,043	
(広告費兩建)	10,000	
振替手数料	24,322	
郵送費	133,168	
払い戻し	12,000	2名
その他(注1)	8,134	
計	1,363,167	
次期繰越金	432,835	
内訳		
振替口座	396,808	
現金	36,027	
		(注1) その他
		運搬費 6,088
		通信費 2,046
		計 8,134

以上、相違ありません。
観音31日奉 理事 小松一彦

AMFORUM
Education Research Center

アムフォーラム教育研究所

代表 松井明子 (観音25回卒業)

■ 教育事業 ■

企業研修 (パーソナルブランディング 文章力強化トレーニング)
女性アカデミック講座 セルフブランディング講座開設
幼児・小学生・中学生・高校生学習指導及び受験講座開設
大学・大学院受験及び公務員試験等の指導

〒193-0934 東京都八王子市小比企町 540-13

Tel : 042-635-8255 (FAX : 042-635-8257)

<http://www.amforum-erc.com>

【分室】 赤坂ノ虎ノ門

Thumbs up

ドレス系アクセサリブランド Thumbs up (サムズアップ)
西武池袋本店5階および西武ネットショップにて展開中



西武ネットショップ

ADVANCE

<https://edepart.omni7.jp/brand/002215/> 観音25回卒業 玉垣俊彦

OKONOMI HOUSE
KUNI-CHAN

お好み焼き
クニチャン

神奈川県川崎市多摩区菅 2-4-3
京王稲田堤 JR 稲田堤駅から徒歩3分

☎044-946-3477



全国9店舗 タイル専門のショールーム

MOSAIC.a 札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡

色・大きさ・形・手触り・美しさ・気品.....

タイルの魅力と驚きがいっぱいです。

タイルをアートに!!



名古屋モザイク工業株式会社

www.nagoya-mosaic.co.jp

東京支店・ショールーム

東京都渋谷区代々木1丁目21-8 クリスタルハウス



医療機器・体外診断薬 コンサルティング

お気軽にお問い合わせ下さい

qualysinova.com

Qualys Innova

クオリス・イノーバ株式会社 神奈川県相模原市清新7-5-5
代表取締役社長 木村 浩実 観音30回



横浜インプラント歯科センター

野々山歯科医院

www.nonoyama-dental.jp/

院長 野々山 浩介

(観音31回生 西区井口出身 广大卒)

〒220-0051

横浜市西区中央1-27-13-1階

☎045-312-6404



La Sana

健やかな美しさのために

洗い流さない髪のトリートメント
全国10年連続売上シェア **No.1**



New プレミオール

ダメージヘアケア



エイジングヘアケア

ヘアカラー

スキンケア

アロマ

化粧品 製造販売元

株式会社 ヤマサキ

代表取締役 山崎 宏忠 (観音14期)

本社：広島市中区舟入本町 3-7

東京支店：東京都渋谷区渋谷1-16-9 渋谷K1ビル 6F

☎0120-02-1147 <http://www.lasana.co.jp/>

ラサーナ



IONIA Ltd.

<http://ionia.co.jp/>

カーテン・壁紙等インテリアデザインのお手伝い致します
お気軽にお問い合わせを

株式会社 **イオニア**

東京都渋谷区恵比寿西1-34-28 代官山ファースト 202号室

TEL: 03-5728-2891 FAX: 03-5728-2892 email: ionia@fj8.so-net.net.jp

観音20回卒業 齋藤 登

第三十一回在京芸陽
観音同窓会開催報告

広島観音26回 大中 和茂

二〇一七年十月一日(日)
十二時から、六本木ヒルズ森
タワー五十一階にある六本木
ヒルズクラブにて同窓会が開
催され、関東近郊に在住して
いる約九十名の卒業生が集い
ました。

松本直和会長の挨拶、小松
一彦理事の事業報告の後、広
島観音高校OB合唱団による
「いしづみミニコンサート」、
片田元己副会長の乾杯挨拶、
松本正前会長の挨拶と続きま
した。森タワー五十一階から
の眺望や美味しい食事、久し
ぶりに会った同窓生との歓談
を楽しみました。スクリーン
に映し出される写真等を見な
がら、広島カープや広島観音
高校サッカー部への応援など
のイベントで大変盛り上がり
同窓会の締めは校歌斉唱と
エール交換でした。在京芸陽
観音同窓会理事の方、イベン
トを企画・準備してくださつ
た小松一彦さん始めメンバー
の皆さん、司会を担当してく
ださった勝山義樹さんを始め
三十二回の皆さん、及び二十
六回の皆さんには大変お世話
になりました。



司会 勝山さん



会長挨拶



編集後記

編集終了、お疲れ様！
快く寄稿を引受けていた
だいた方々に感謝じゃね
卒業生が活躍されてる
ジャンルが、幅広いで
多彩・多能ですよ
新シリーズにも挑戦して
みましたが
恩師の方々、来年以降も
特集できますかね
広島同窓会本部にも
協力してもらいたね
観音ネギ、懐かしいわ
ネギでも「カンオン」
「カンノン」論争あるとは
今年のカープはどーなん
ですかね
TT 今年は総会で3連覇祝お
うと昨年宣言済じゃ(汗)
大丈夫じゃろー
KMKK なんかも皆、広島弁になつて
きよるよー
MI 打ち上げでお好み焼行き
ましょーか
TT 乾杯っつ！あら？YKさん
がおらん
KM しよーがない、記念写真
は卒業アルバム式で○の
中じゃね、YKさん(笑)